

2025 年度 フィールドスタディ（FS）実施企画

授業コード：25041612

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	「津軽とつながる、津軽をつなげる奥津軽 FS ——くらすこと、うつること、まもること」
担 当 者	竹本 研史
実 施 時 期	2026 年 2 月 26 日（木）から 3 月 1 日（日）まで
実 施 場 所	青森県五所川原市、中泊町、つがる市など
協 力 機 関	企業組合でる・そーれ、あおもり五所川原グリーン・ツーリズム協議会、津軽鉄道サポーターズクラブほか
募 集 人 員	15 名
学 習 目 的	・「食」を中心とした六次産業化、コミュニティカフェによるまちづくりを学ぶ ・奥津軽の観光や地域の暮らしについて、現地の方々、とくに女性の方々から学ぶ ・奥津軽を例に、地方移住について考える
行 程	下記行程は 2024 年度第 II 期に実施した実績をもとに作成したものであり、今後、内容・訪問場所に変更が生じる可能性があることをお断りしておく（少なくとも、2025 年度は立佞武多の館は休館中である）。 1 日目：【13:30 集合】（五所川原市中心部）「立佞武多の館」で見学、紙貼り ・「立佞武多の館」内外で五所川原市の歴史と地域移住者としての地域活動の取り組みや、「津軽こぎん刺し」に関する講演 ・「でる・そーれ」で、コミュニティカフェについての講演＋「うちごはん」 2 日目：・津軽鉄道ストーブ列車で中泊町へ ・（中泊町）「イネ子の畑から」において「冬の農業」を学ぶ ・（五所川原市金木地区）コミュニティカフェについての講演 ・「斜陽館」・「旧津島家新座敷」など太宰治を中心とした観光を学ぶ ・農家民泊（「あおもり五所川原グリーン・ツーリズム協議会」） 3 日目：あおもり五所川原グリーン・ツーリズム協議会と合同研修 ・（五所川原市）「三好農産物加工センター」で 6 次産業と地域を守る取り組みについて学ぶ ・（鯉ヶ沢町）「スーパーかさい」で地域を守るための取り組みに関する講演 ・（つがる市）「つがる地球村」で「つがる地域おこし協力隊」の方による講演、WS 4 日目：・（つがる市）「古民家風丸」にて「合同会社津軽の暮らしラボ」（の方々による若手移住者の地域移住やグリーン・ツーリズムに関する講演・交流 ・（五所川原市中心部）「でる・そーれ」で 4 日間のふりかえり 【14:00 ごろ解散】 宿泊先：ホテルサンルート五所川原（1 日目）【〒037-0053 青森県五所川原市布屋町 25】ほか 現地までの交通：利用する公共交通機関は任意とするが、初日と最終日は東北新幹線（＋在来線もしくは路線バス）利用を前提とする。

費 用	約 50,000 円 (3泊の宿泊費・食費・プログラム参加費を含む) 現地までの往復交通費は、新幹線・学割適用で約 30,000 - 32,000 円の見込み
奨励金の カテゴリー (予 定)	D : 4,500 円
選考基準	志望調査票の内容に基づき選考 (応募人数が多い場合はさらに面接を実施)
事前・事後 学 習 の 予 定	【事前学習】顔合わせ、直前ミーティングも含めて、5 回 (11/7、12/5、1/9、1/30、 2/20 のいずれも金曜日、18:45-20:30) + 現地訪問前に中間レポートを提出 【事後学習】2 回 (3/13、3/27 のいずれも金曜日、18:45-20:30。2 回目の事後学習 は最終レポート提出後) 事前・事後学習は何よりも重要なので、上記日程に参加できる学生のみ応募可能。
注 意 事 項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、 費用負担をしてもらう場合がある。
評 価 方 法	事前・事後学習および本番での参加姿勢 + 中間・最終レポートの内容により総合的 に評価